

<真剣味>⑯

2014.11.28

卒団生の成長・家庭教育を見た

23(日)に3年生の卒団試合が行われました。純粋に卒団生対下級生の真剣な試合でした。最初はどのような試合になるのか不安もありましたが全くいらない不安でした。両チームとも今持っている力を発揮し、真剣に戦ってくれました。

試合は下級生側の先発である板垣コーチのピッチングからスタートしました。どれだけ抑え込まれるかと心配でしたが、卒団生の攻撃は初回から火を噴いて6点を奪うことができ、いい流れをつかみながら最後まで自分たちの流れで試合を進めることができました。コーチ以降の下級生の投手陣からも加点し合計14点、失点1で勝利しました。この日はけがで出場できなかった鈴木君が助監督としてサインを出し、メンバーはそれに答えるようみんな一生懸命取り組んでいました。良い仲間関係だなと思いました。

今まで下級生を対戦相手として見たことがなかったので、いつもは見えない部分が見られて良かったし、反省もしました。①元気のなさ②外野手の反応の鈍さ③肩の弱さ等。

最後のセレモニーで卒団生が一人一人保護者・指導者に挨拶する場面では、照れながらモジモジして話すのかと思ったら、みんなが堂々とした態度で感謝のことばを述べていました。これができるのは自分で決めて入団し3年間やり遂げられたという、人としての成長があるからなのか、全面的にバックアップされた保護者への本当の気持ちなのか、またその両面なのかとても素晴らしいものになりました。（荒井由実の音楽が似合う雰囲気でした）卒団生ならびに保護者の皆様3年間本当にご苦労様でした。高校でも継続してガンバってください。

疲労回復のため

私は年齢の関係か病氣か分かりませんが、毎日疲れが残るようになってしまいました。できることといえば病院へ行くか、毎日のことであれば食事内容を考えるくらいです。炭水化物、タンパク質の栄養素の摂取はもちろんのこと、おかげは3品作ることにしています。さらに最近では朝の青汁と夜の果物を取るようにしています。果物を取ったときには、その旨味が体の隅々まで行きわたる感じがして、最高です。良いものは気長に続けたいと思います。

+ α

関係各位のお陰で、体験入部の児童が多く来てくれています。有難いことです。受け入れる選手は自分のことばかりでなく、児童に教えながら、自分も練習するわけですからとても勉強になり、「教えること」が本人を成長させてくれるはずです。責任をもって取組んでいます。児童が入団したいチームを選ぶ際は、「強い・人が多い・家からの距離・先輩がいる・仲間が行くから」等を考えると思います。最終的に決めるのは本人ですが、3年間で自分を成長させられる（心・体・スキル）チームを選ぶべきだと思います。一生懸命な取組、良い刺激のある我がチームと一緒に野球をやりませんか。やる気のある方は、いつでも歓迎いたします。